

藤枝市立葉梨西北小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年4月27日(火)

今年度2回目の出前授業は葉梨西北小学校！



昨年度は新型コロナウイルスの影響で出前授業が中止になってしまいましたが、今年度は訪問することができました。

藤枝市の山間部に位置し、周囲を田畑や新緑が美しい山々に囲まれ、鳥のさえずりが聞こえる自然豊かな学校でした。当日は、「石器の試し切り」「土器の分類」「火起こし」等の古代の人々の生活の一部を体験しました。

まだ歴史の学習が始まっていませんでしたが、本物の石器や土器に触れたい、火起こし体験を通して古代の人々の暮らしを思い描いたり、これからの学習に興味をもたいて取り組んでくれることを期待しています。

◎石器試し切り体験◎

石器(黒曜石)を使って野菜を切る体験をしました。各自で家から持ってきたキャベツの芯や葉、ニンジン等も何回かやっているうちに切ることができ、とても驚いていました。

黒曜石の塊を持つと、「すごく重～い！」と驚いていました。この黒曜石を伊豆諸島や長野県まで出かけて行って手に入れていたことを知ってさらに驚いていました。



◎土器分類体験◎

縄文・弥生・古墳時代の土器についての説明を受けた後、本物の土器片を各班で分類してみました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを実際に手で触れながら選別分類に挑戦しました。最後に残った土器片が弥生土器なのか須恵器なのかでとても悩んでいましたが、班内で意見交換しながら分類することができました。



◎火起こし体験◎

最初は、なかなか火が付きませんでした。火起こしがこんなに大変だとは思っていませんでした。必死になってはずみ車をまわし、やっとのことで火種ができ、火口に火種をそっと置き、しばらく息を吹きかけると、ぽつぽつと火が起きました。「昔の人々の大変さが実感できて良かった」との感想を話してくれました。

